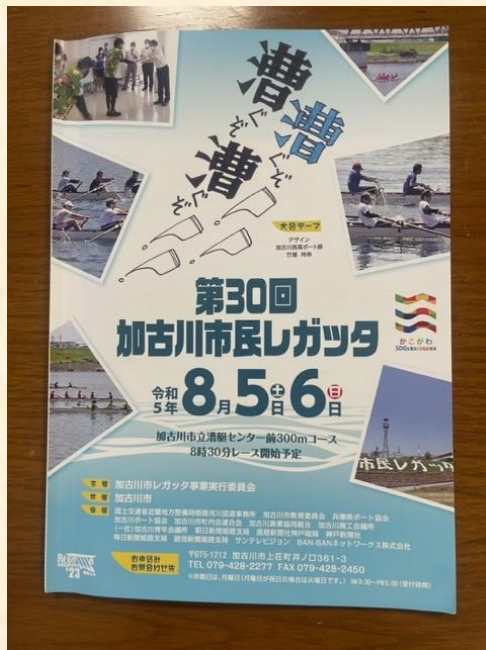


### 第30回加古川市民レガッタ大会の冊子が校長室へ

9月6日(水)、加古川市レガッタ事業実行委員会事務局の方が、去る8月5日(土)・6日(日)に開催された第30回加古川市民レガッタ大会結果の冊子をわざわざ直接足を運んで加古南の生徒会担当職員に届けてくださいました。そして職員はその冊子を校長室に届けてくれました。冊子を開くと、岡田康裕加古川市長のご挨拶のなかに、多くのボランティアの皆様を支えられ、盛大に大会を開催できる感謝の言葉が綴られ、さらにページをめくっていくと、競技補助員のボランティアとして加古南の生徒9名の名前を発見しました。他には加古川西高等学校や県立農業高等学校の生徒もありました。加古南の9名の生徒の参加は事前に把握していたものの、大会結果が掲載された



立派な冊子をあらためて拝見すると、他校の生徒と一緒に地域のイベントや行事の運営に大きく貢献している姿を鮮明にイメージができ、高校生の力や汗がしっかりと地域社会を支えていることを確信できました。頼もしい限りです。そして温かい気持ちになります。このように学校の枠を超えたボランティアは、生徒同士の交流もできて大きな輪ができると思い、頑張る生徒を誇りに感じます。

一方で、コロナが5月以降5類に移行されたものの感染には予断を許さない状況下に加え、この夏は記録的で特別に猛暑の日が続き、全国的に熱中症で緊急搬送された方が続出しました。そんな中、加古川市主催の大会委員長はじめ役員の皆様は、競技者の皆さんや大会役員はじめ補助役員、ボランティアの方、すべての関係者の皆さんの安全・安心を担保にした大会開催運営をされました。皆様のご苦労やお気遣いは想像を絶するものです。学校としては、高校生に活躍の場やチャンスを提供していただき、地域社会の活性化の一翼を担う高校生、活躍する姿に Be Happy